



# あやめ



with「感謝」「尊敬」

文責：生徒指導主事 櫻本直弘

## 紫翠祭無事終了

9月20日(金)・21日(土)に、生徒会年間最大行事である紫翠祭が行われました。1日目の文化の部・2日目の体育の部ともに晴天に恵まれ、無事に「祭典」を実施することができました。69回目を数える「紫翠祭」を成功させるために、1学期から、生徒会本部を中心に、各実行委員会、各学年学級・各文化部がそれぞれの目標をもって取り組んできました。

文化の部の『合唱』については、本校での取り組みが30年を越えた「全校ハレルヤ」を、今年度も披露することができました。**繋いできた伝統を継承すべく、1学期からパート練習・系列練習に取り組み、全校一丸となって取り組んできた「ハレルヤ」**…。当日の演奏はとても迫力があり、今までの練習をはるかに超える素晴らしい発表になりました。まさに**櫛形中学校全生徒の心が通い合った瞬間**だったと思います。また、クラス合唱でも取り組み期間中、各学級で熱心に取り組む様子が見られました。本番ではどのクラスも自分達らしさを表現し、素晴らしい発表をすることができたと思います。事前の合唱指導に来てくださった芦澤真一先生からも、「**素直な歌声が心に響く**」といった、お褒めの講評をいただきました。また、文化部による部活動ステージ発表、吹奏楽部(県吹奏楽コンクール金賞・西関東大会出場)の演奏、部活動・委員会・各学年による展示発表、テーマ「**爽輝**」～**駆け抜けろ Blue Spring**～を表現した全校制作のステージバックなどもたいへん好評でした。

2日目の体育の部でも、各学年の競技で白熱した勝負が繰り広げられていました。各クラスや系列の応援にも気合いや気持ちがこもっており、まさに**団結・協力**という言葉そのものでした。競技の形をとるからには勝敗はつきものなのですが、生徒達が全力で取り組み、クラスや学年の一員として一生懸命競技をする姿はとてもすがすがしく、観ている人達に**感動**を与えてくれたと思います。

紫翠祭を終え、学校としても、生徒の皆さんの気持ちとしても、**大きな区切り**ができたと思います。この区切りを、**ただ「よかった」「楽しかった」で終わることなく、「責任を持つこと」「協力すること」など、この紫翠祭で得たものを、これからの学校生活で生かせるかどうか**が大切だと思います。そしてそれができてこそ「**本当の意味**」で紫翠祭が成功したと言えるのではないのでしょうか。3年生は進路選択・卒業に向けて、1・2年生は3年生からバトンを引き継ぎ、新人大会や生徒会役員選挙など学校の中心となって、活躍することを期待します。

保護者の皆様には、2日間にわたって紫翠祭を参観していただき、本当にありがとうございました。残暑の厳しい時期ではありましたが、2日間で延べ1,000人を超える方に参観していただきました。今後も本校の教育活動へのご理解と、変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願い致します。





## 進路の実現目指し本格始動

いよいよ来月（10月1日）の教達検（教育課程到達度確認検査）を皮切りに、本格的に受験シーズンに突入します。個人としても、3年生全体としても、希望の進路実現に向けて、精一杯の努力を重ねていてもらいたいです。

ところで、時折「勉強の仕方が分からない…。」とか「一生懸命やったのに結果が悪い…。」という声を聞くことがあります。では、あなたはどれだけの勉強方法を実際に試してみましたか（始めましたか）。続ければ必ず力がつくと信じて、毎日勉強を続けていますか。＜努力するものは希望を語り、努力を怠るものは不満を語る。＞と言います。やるべきことをやらないで、不満や愚痴を言うのではなく、まずは始めること、続けること。あなたを変えることができるのはあなた自身だけなのです。みなさんの進路希望は、決して実現不可能なものではありません。自分の可能性を信じて頑張りましょう。

## お知らせ……新人大会に向けて激励会開催

10月4日（金）14：35から、県新人大会（中巨摩交流会）に向けての激励会があります。保護者の皆様にも参観して頂けますよう、よろしくお願い致します。

今回の県新人大会（中巨摩交流会）が、3年生からバトンを引き継ぎ、2年生中心の部活動体制になって初めて迎える「晴れの舞台」ということとなります。早いところでは1学期後半から、朝練・午後練、土日の練習や練習試合と、新人大会を目標に頑張ってきました。激励会では、そんな各部の意気込みが感じられることでしょう。お楽しみに…。